

卒業おめでとございます！

—今、再びの挑戦を開始しよう—

校長 山本昭比古

3月14日、本校において第37回小学部卒業証書授与式、第32回中学部卒業証書授与式を挙行了しました。ご来賓として在ドバイ日本国総領事館総領事、梅澤彰馬様、本校学校運営理事会理事長、伊藤友介様、本校PTA 会長、藤野亮之様の皆様にご臨席を賜りました。また、保護者の皆様にも参列いただき、心から感謝申し上げます。感動的な卒業式のなか、小学6年生13名、中学3年生2名、計15名の卒業生が本校から巣立っていきました。

校長の式辞では、次のようにお話をしました。

『君たちは本校の発展のために本当によく頑張ってくれました。皆さんとの数々の思い出は、私たち教職員にとっても、楽しく、貴重な財産になっています。君たちの活躍・飛躍は目を見張るものがあります。あとに続く後輩の手本ともなりました。心から感謝しています。本当にありがとうございます！

一方、みなさんは、卒業までの間には、人には言えない、いろいろな悩みや苦しみもあったかと思います。しかし、その逆風を成長の力に変え、見事に乗り越え一人一人が立派に成長しました。私は、皆さんの成長がうれしく、また、誇りに思っています。

卒業するみなさんに、改めて、「今、再びの挑戦を！」ということばを送りたいと思います。私たちの先人は、遠くは、戦後の荒廃、近くは、あの阪神淡路大震災、そして、7年前の東日本大震災をはじめ、様々な厳しい状況の中、何度も、立ち上がってきました。一時は、もう駄目か！と、あきらめかけた中でも、私たち日本人は歯を食いしばって一つ一つ困難を乗り越えてきました。

なぜ、前へ進むことができたのか、それは、挑戦の姿勢を持ち続けることができたからだと思います。そして、そのことは、これからの卒業生の人生にとっても大事なことだと思います。「挑戦なくして成長なし」「成長なくして幸福なし」です。次のステップに向けて、今、再びの挑戦をはじめていきましょう！

本校の卒業生は今年度で小中合わせて440名余りとなります。「学校は卒業生で決まる」といわれます。これからの、みなさんの責任と役割は非常に大きいものがあります。みんなで作ってあげてきた本校の伝統を忘れず、このドバイの地から、日本や世界へ、ますます、飛躍されんことを祈っています。』

卒業生のみなさん、がんばってください。

小学部6年



中学部3年



帰国する派遣教員からの ごあいさつ

この度任期を終え、帰国する派遣教員からの挨拶を紹介いたします。保護者の皆様をはじめ、総領事館、日本人会、学校運営理事会、関係者などの皆様には大変にお世話になりました。心から感謝申し上げます。帰国する派遣教員のますますの活躍を祈念いたします。

教頭 尾崎良郎

美しい砂漠に魅了されたドバイでの勤務も終えようとしています。保護者の皆様、日本人会の皆様には大変お世話になりました。直接児童生徒や保護者の皆さんと関わることは少なかったですが、裏方としてそれなりに学校の改善に取り組めたのではないかと考えております。特に理事会の皆様のおかげで、学校の施設設備の改修・補修を実施できたことをうれしく思っております。やり残したことは多々ありますが、時期となりましたので、皆様の今後のご多幸をお祈りして去りたいと思います。本当にありがとうございました。

教諭 福本俊也

3年間、大変お世話になりました。素直で何事にも積極的な子どもたち、いつも協力的で温かく見守って下さる保護者の皆様に支えられ、充実したドバイ日本人学校での3年間を送ることができました。海外で暮らす子どもたちのために、確かな学びの機会を作ること、子どもたちを笑顔にすることを目標に教育活動に取り組んで参りました。帰国後はこの3年間の経験を生かして、日本でも子どもたちの夢と笑顔のために努力を続けていきたいと考えております。本当にありがとうございました。

教諭 晴山織絵

暑い中、低学年の子ども達と一緒にたくさん水遊びをしたこと。学校行事に向けて、高学年の子ども達と力の限界に挑戦しようとしたこと。全校で砂まみれになって真剣勝負をした、運動会のアシファラムリヤ。UAEの気候に負けない「子ども達や先生方の熱い心」を感じたこの3年間は、私の宝物となりました。今担任している6年生の卒業とともに私もDJSから卒業します。ドバイの子ども達に負けないよう、ここで学んだことを活かし日本でも元気で頑張ります。これまでの保護者の皆様のご協力に心より感謝いたします。

教諭 勝呂拓生

1年目。当時のG6児童たちと長縄跳びにチャレンジしました。学校記録を塗り替えるほどの子ども達のがんばりに感動しました。2年目。この年のG6児童たちとはハピスマやスポクラを児童主体で企画し運営しました。下学年から尊敬される上学年の姿を作り出した子ども達の努力に感動しました。3年目。高学年にむけて4年生の段階から自覚と責任感を持つよう子ども達と様々な活動を行いました。デイキャンプで下学年をリードするG4児童の姿から子ども達の無限の可能性を感じました。沢山の感動をありがとうございました。

ご寄贈、ご寄付ありがとうございます

日産自動車様（菊池様、近郷様）から「ニッサン童話と絵本のグランプリ作品」の児童用図書の寄贈がありました。また、本校PTA（PTA会長藤野様）から児童生徒用の図書購入等のためのご寄付をいただきました。

より一層の子どもの教育環境の充実のために活用させていただきます。ありがとうございました。

